

カトリック大司教：性的な子供

虐待は、聖職者を“神の立場に置く”

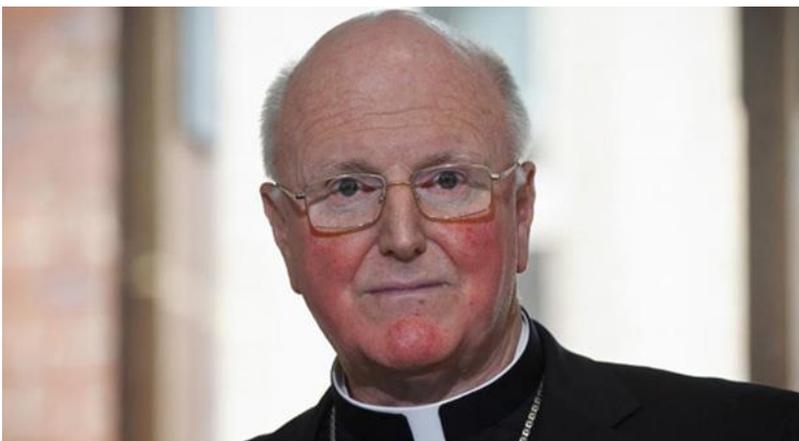
カトリック教会高僧いわく、子供虐待は刑法より“高い秩序”に属する

【訳者注】ここでは、大司教とか枢機卿という大物から出された、奇怪な理屈が問題になっている。子供の性的虐待が「神との出会い」であるとか、それは「より高い秩序の（刑法を超えた）問題」だとかいうのは、心身ともに成熟した女性との関係で、起こり得ることである。また「聖職者のペドフィリアは、女性に責任がある」というのも、相手が成熟した女性であれば起こるかもしれない。それが、子供相手のペドフィリアにすり替えられている。これは、ずる賢さからきたものか、人間の性を知らないことからきたものか、判断ができない。神父は最初から妻帯すべきであった。成人男女に“法悦体験”は起こりうるであろう。「子供」というのは、ローティーンから、もっと下の一桁半ばまでが多い。あの殺された、ぎよる目の神父の場合は、ほとんど5歳から10歳だった。

かりに、神父にだけは、特別な魔法のような力が与えられていて、性行為を通じて、子供にそのような「神との出会い」をさせることができるのだとしたら（この話はそう解釈できる）、そのような魔法は使わない方よい。それは、「我々よりはるかに強力な」（と、サタン支持を表明した法王フランシスの保証する）サタンからきた可能性があるであろう。

Jay Greenberg, www.neonnettle.com

February 17, 2018



大司教 Denis Hart は、子供の虐待は法律より“高い秩序”に属すると主張した

カトリック教会の最高位僧の一人が、ペドファイル聖職者たちの行為を弁護し、性的虐待は「神との出会い」とであると主張した。

オーストラリアの最も強力な僧団の一人、メルボルン大司教のデニス・ハートは、子供を虐待することは、「より高い秩序に属する」問題で、刑法の問題ではないと言った。

彼は以前に、聖職者ペドファイルを警察に通報するよりも、「刑務所に行く方がましだ」と言明して、人々を混乱させたことがある。

彼のこのショッキングな言明は、オーストラリア王立委員会の、子供性虐待に対する制度的な態度決定——「虐待を警察に通報しなかった聖職者に対する、いかなる口実も、保護も、特権も認めない」——に対する、異論として述べたものだった。

ハートは、性的虐待は「聖職者を通じて神と霊的に接触する」ことで、刑法より「もっと高い秩序に属する」と主張した。

新しい報告によると、この委員会は、刑法システムへの 85 項目の変更を提案し、聖職者が、もし性的虐待のような、深刻な犯罪の通報を怠るならば、刑法に問われるようにすべきだと主張した。

現行の法律の下では、僧侶には、犯罪を警察に通報する法的な義務がなく、カトリック教会のメンバーによる犯罪行為への懲罰措置は、教会法によって内部で行われ、これは通常の法的措置とは独立に機能している。

委員会の調査したところでは、高位僧たちは、子供性虐待を官憲に知らせないことを隠すのに、カトリック教会は、confessional confidentiality (告白の守秘義務) を利用していると考えている。<http://www.neonnettle.com/tags/child-abuse>



法王フランシスは、昨年、聖職者の50人に1人は、ペドファイルであることを、バチカンには知っていると言った

この報告は言っている：――

「我々は、宗教的な告白の意味は理解している――特に、その内容を明かさないことの絶対的義務は、ある信仰、とくにカトリック信仰にとっては重要である。

「しかし、我々は多くの、さまざまな証拠を聞いており、子供性虐待の宗教的告白においては、犠牲者と犯行者の両方が、それを打ち明けることが多いようだ。

「我々は、告白が一つのフォーラムであり、そこで、カトリックの子供たちは自分たちの受けた性虐待を明らかにし、僧侶たちは自分の虐待的振舞いを明らかにして、自分自身の罪に向き合おうとするのは、良いことだと思っている。」

大司教ハートは、オーストラリア・カトリック司教会議の首席でもあるが、彼は、告白の封印は、法律から保護されねばならないと主張し、こう言っている：――

「それは宗教の自由の根本的な部分であり、オーストラリアや他の多くの国の法律で認められている。ここオーストラリアでも、それは維持されねばならない。

「これ以外のことについては、子供に対する犯罪のすべては、官憲に報告しなければならず、我々には絶対的にそうする義務がある。」

ビデオ：「カトリック大司教：子供性虐待を通報するより監獄へ行くほうがまだ」

<https://youtu.be/d3TrGcOZ-n0>

参考資料：「カトリック教会：ペドファイル聖職者については女性に責任がある」

<https://www.neonnettle.com/news/2359-catholic-church-women-are-to-blame-for->

[pedophile-priests](#)



枢機卿 Raymond Burke は、ペドファイル聖職者については、「女性が悪いのだ」と主張している

独立報道: 木曜日、ハート大司教は、告白の封印を破るよりは監獄へ行くかと訊ねられ、ABCラジオ・メルボルンにこう答えた: ——

<http://www.independent.co.uk/news/world/australasia/archbishop-denis-hart-child-abuse-confession-roman-catholic-report-melbourne-a7895856.html>

<http://www.abc.net.au/news/2017-08-15/catholics-pass-judgement-on-calls-for-confessional-broken/8809272>

「私はそうすると言いました。

「私はこれは、絶対的にこの上なく神聖な、より高い秩序の交流だと考えています。

「この告白（告解）以外の問題なら、法が順守されていることを証明するために、どんなことでもやる覚悟があります。

「しかし、より高い秩序の問題、神に関わる問題があるのです。」

彼の立場は、他の著名な聖職者の支持を得ており、そこには彼のブリスベーンの同役 Mark Coleridge、聖職者で法律家の Frank Brennan がいて、彼らは、もし法律が変われば、「それに従うことを、良心の立場から拒否するだろう」と彼は言った。

Sydney Morning Herald に寄稿した記事で、ブレナン神父は、僧侶たちに対して、虐待とされているものを通報することは、子供たちを、より危険な立場に置くのではないかと、言った。なぜなら「それは、一人の犯罪者が悔悛して、自首する可能性を奪う」からである。

<http://www.smh.com.au/comment/frank-brennan-why-i-will-break-the-law-rather-than->

the-seal-of-confession-20170814-gxw7it.html

しかし、子供性虐待の被害者を代表している法律家の Vivian Walker は、この委員会の勧告を歓迎して言った：――

「私は、カトリック教会は、もうそろそろ、暗黒時代から引っ張り出されてもよいころだと考えています。

「我々はもはや、子供に対する性的犯罪を、ある種の許される罪と考えることはできません。」

委員会にすべてを委ねるに際して、カトリック教会の Trust Justice と Healing Council は、聖職者たちに対し、告解のときに聞いた情報を明らかにすることは、宗教の自由を覆すものだと思えるように求めた。Council の理事長 Frances Sullivan はこう言った：――

「カトリック教会における告白（告解）の概念全体が、悔悛、許し、贖罪の上に立っています。

「この許しの過程の一部は、確かに子供性虐待者の場合には、通常は、警察に自首して出ることを要求するでしょう。」

しかし一方、委員会の報告はこう強調している：――

「自分の宗教的信念を実行する権利には、すべての人々の安全、特に子供たちを性的虐待から守る安全の、市民社会的義務が、含まれていなければなりません。

「子供の性的虐待に関連する情報を、警察に通報するという事は、子供の安全を確保する上で最も重要なことです。」

オーストラリア議会が、この報告書にあるような変更を、実施するか否かを決めるであろう。

ハート大司教の、メルボルン教区での前任者 George Pell 枢機卿は、今年後半に、多数のセックス訴訟に直面しなければならなくなる。

――以上